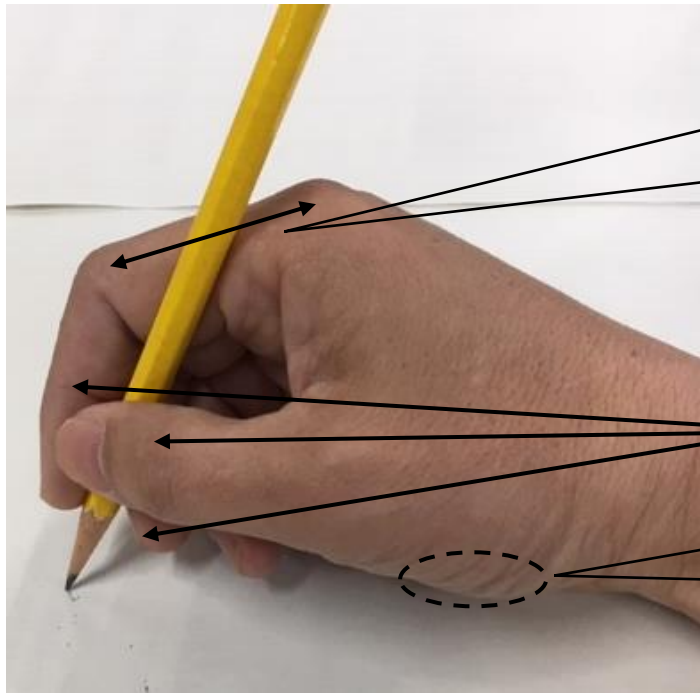


「えんぴつの正しい持ち方」



ひとさ ゆび
人差し指の第2, 第3関節の
あいだ
間でえんぴつをささ
支える。

ぼん ゆび ちから い
3本の指は力を入れすぎず、
の
やや伸ばし気味にする。

ぶぶん つくえ こてい
この部分を机に固定する。

- ただ も かた
・正しい持ち方のフォームは？

おやゆびひとさ ゆび
親指と人差し指でつまむようにしてえんぴつを持つ。

(「クジャク法」(*1)を参考にしてください。)

- ひっき も かた かくど
・筆記しやすい持ち方の角度は？

やく ど きほん
約60度を基本として、えんぴつは軸をねかせ気味にして持つ。

- ゆび ちから かげん
・それぞれの指の力加減は？

おやゆび なかゆび
親指と中指でえんぴつを持ち、ひとさ ゆび
人差し指はタテ線を書くときの「ナビゲーター」。
こゆび どだい やく
小指は「土台」役。

えんぴつを持つ3本の指は、えんぴつが抜け落ちない程度のふんわりした
ちから かげん
力加減。

どうしても力んでしまうときは、こゆび かる ま よけい りき ひじ なが
小指を軽く曲げて余計な力みを肘へ流す。

- て かみ ふ いち
・手と紙が触れる位置は？

こゆび だいいち かんせつ
「小指の第一関節」と「小指球」の2箇所。
しょうしきゅう かしょ

* 1 : 「クジャク^{ほう}法」

- 1, OK サインをつくったら、^{おやゆび}親^{ひとさ}指^{ゆび}を人差し指^{だいいちかんせつ}の第一関節までずらして、^{なかゆび}中指・^{くすりゆび}薬指・
^{こゆび}小指^たを立てて、クジャクの^{あたま}頭^{みた}に見立てる。
- 2, ^{どくへび}毒蛇^{みた}に見立てたえんぴつを、^{しん}芯^ののほうからつまむ。
- 3, えんぴつをくるっと180度^ど回^{かいてん}転させる。
- 4, 3本の^{ぼん}指^{ゆび}を^{やさ}優しく^そ沿わせる。

(参 照)

「えんぴつの正しい持ち方」

<https://tombow-ippo.jp/howto/>